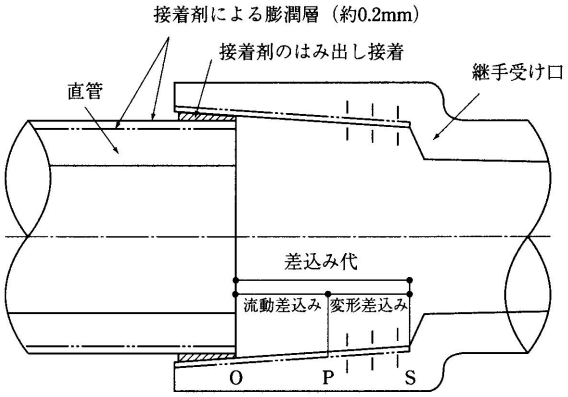
E－72	硬質塩化ビニル管の差込み接合－TS工法	単位mm

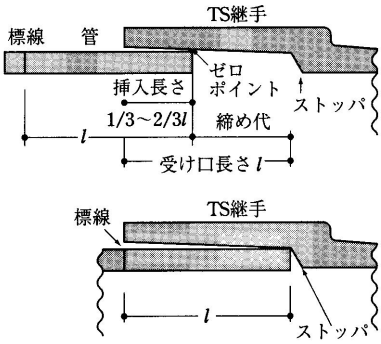
施工方法

・硬質塩化ビニル管の差込み接合は、接着剤による管の膨張と弾性を利用したものである。
（Taper Sized SoIvent　Method，Taper Sleeve Method）



O点：配管が抵抗なく差し込める点
O ～ P点 ：膨張層の流動により差し込める長さ（流動差込み）
P ～ S点 ：力を加えて差し込む（変形差込み）

ゼロポイントと締め代



標準保持時間

管　径 A [mm]	時　間 [s]
$A \leqq 40$	20以上
$50 \leqq A \leqq 150$	30～60
$200 \leqq A \leqq 300$	90以上

(1) パイプは軸芯に対し直角に切断し、管端の面取りを必ず行う。
(2) 受け口内面と差し口外面をきれいに清掃する。油分は工業用アルコールで完全に拭き取る。
(3) 差し口先端から所定の長さをはかりマーキングする。
(4) 接着剤は配管用途に適したものを使用し、受け口内面と差し口外面に薄く均一に塗る（継手内面に塗りすぎると管内に接着剤が流れ込み、その蒸気により管がおかされ破損の原因になる可能性もある）。
(5) 接着剤塗布後直ちに管を継手にマークまで一気に差し込み、戻らないよう押さえつけ一定時間保持する。差し込む際はひねったり、たたき込んだりしないこと、管径が 75mm 以上の場合は挿入機を使用する（温度により接着時間が変わるので注意が必要。10℃以下での施工は避けること）。

留意事項

① はみ出した接着剤は直ちに拭き取る。

② 接着剤が乾燥するには半日から 1 日かかるので、水圧テストは、接着完了後 24 時間以上経過してから行う。

③ 給水用には JWWA S101（水道用硬質塩化ビニル接着剤）を使用する。

④ 接着剤は有機溶剤であるから、施工中の換気ならびに火気には注意する。